

☆私の意見

国立国際美術館の

開館をひかえて

本間 正義

△国立国際美術館長△



国際美術館といっても、ちよつとわかりづらいと思う。国際劇場とか国際ホテル、国際レストランからパチンコの国際会館、或いは国際興行などといった具合に、日本人はなんとも国際好きである。この時の国際には、特別の意味があるわけがなく、なにか大きいものとか、新しいものといった漠然としたところをつけているものが多い。だから国際の概念は甚だあいまいで、国際美術館とは一体なにをやる美術館ですか、との質問をよくうける。万博が終つて、万博美術館をどのように使つてゆくかについて、色んな要望が各方面からおこつた。まず地元の大阪からは現代美術館に、日本美術家連盟からは造形の基本を示す美術館に、さらには模写模造を活用した教育的色彩の強い美術館に、あるいはデザイン美術館といった具合で、性格づくりがかなり難航した。

それでまず「人類の進歩と調和」の万博のテーマのもとに、古今東西の名作を展覧した万博美術館の精神を受けて、日本美術の生成展開を中心に、それと交流する世界の美術との関連を明らかにするところに焦点がむけられ、これをスジとして、各方面からの要望と関連させた展覧会を活発に行なつてゆくことにした。国際美術館命名の由来もここにある。

開館記念展は、外国美術とのいわばヨコの関係を明らかにしてゆくためには、まず日本の美の原点を確かめるという趣旨から、「日本の美、その色とかたち」という企画で、十月十五日開館予定をめざし、只今準備に大奮闘しているところである。それと今、私が一番考えていることは、ただ見てくれだけの作品をならべて、なんとなく観客不在になつてゐる美術館のことである。私はテレビの欽ちゃんの番組で、ブラウン管をこえてくる観客へのアプローチぶりに舌を巻くことがあるが、美術館でもお客さんとのもつと親しみ易い、楽しい雰囲気作りが出来ないのだろうか。冬などお祭り広場の向うに、離れ小島のようになつてしまふ国際美術館の、これは一番大事なこともかもしれない。

若き日の画家と作家達

伊藤慶之助

△画家・春陽会会員▽

大正の末から昭和の初めにかけて、洋画の公募展覧会は日展の他には日本美術院の洋画部と二科会しかなかった。春陽会も後に日本美術院の洋画部が分かれて、小杉放庵、森田恒友、倉田白羊、山本鼎の人達が梅原龍三郎、岸田劉生、斉藤與里などをさそって創立された会で、私も春陽会ができるまでは二科会に出品していた。

その当時、二科会に出品していた私達若い画家で圓鳥会という会をつくったことがあった。東京都美術館ができる前の同じ場所にあった竹の台陳列館と称するバラック建てのそまつな建物で、日展も二科会もこの会場で展覧会が開かれていた。私達の圓鳥会もこの竹の台陳列館で展覧会を開いた。会のメンバーは万鉄五郎、埴原久和代、野口弥太郎、林武、木下孝則、木下義謙、虫明柏太、真田久吉、小島善太郎、児島善三郎、鈴木亜夫、伊藤慶之助などであった。

第一回は大正十年だったと思うが、一応鈴木亜夫に手紙を出して返事をもらった。「拝復お元気の由慶賀致します。圓鳥会の想出はなつかしく感じます。しかし古いことなので正確な時日は忘れてしまいました。私の『天の岩戸』の作品写真は残っておりません。目録なども外国旅行等にて紛

失してしまいました。実にお役に立たなくて申し訳ありません。万氏や埴原女史今は無く実に淋しいことです。近頃になって古い記録は大切にすべきことだと残念に思っています。鈴木亜夫より」

展覧会の陳列を終った翌日の朝、上野警察の刑事事が会場にやって来て、児島善三郎の裸婦二点は風紀上よろしくないということで、撤回を命ぜられ、鈴木亜夫の『天の岩戸』は皇室を侮辱したけしからん絵だということでこれも撤回を命ぜられた。私達は訳が解らないままにこの三点を壁からおろしたが、警察の態度が高圧的で画家を不逞のやからと心得えた言動に反感をもった。

午後になって読売新聞の記者が会場に来て、警察への始末書に印をおしてから、それによって署長の撤回命令が来た上で作品を撤回すればいいので、もう一度『天の岩戸』を壁に掛けろということになり、他の新聞社にも連絡して翌朝の各社の紙面に『天の岩戸』の写真をいっせいに掲載した。古事記をユーモア風に解釈し、カルカチュアとして、とばけて表現された百五十号位の大作だったから、警察には全く滑稽に見えたらしく、翌朝の新聞紙面を見て皇室侮辱罪で責任者を起訴するといってきた。



昭和3年、パリのモンパルナスで。左から筆者、木下孝則、益田義信、久米正雄

ところが警察にとって都合の悪いことには、不逞の絵を描いた鈴木亜夫の伯父が時の鈴木警視総監だったので上野警察では自分達の親分の甥の描いた絵では余り強いこともいえず、戦法をかねて温情主義に変更、始末書をポケットに入れた数人の刑事が笑を浮べて私達の印をもらいに会場に来了。私達は記者に智恵をつけられていたので、会場の事務所に一升瓶を置いて虫明柏太や林武などは本当によっぱらって、のらりくらりと刑事の相手をした。警察ではほとほと困りはてて、今度は圓鳥会事務所になっていた埴原久和代女史を上野警察の留置場に監禁した。埴原女史の警察からの声にびっくりした私達は、外務省やアメリカ大使館に電話を掛けたので、女史が時の埴原アメリカ大使の妹であることが知れ大さわぎになり上野警察は恐縮して埴原女史を丁寧に家におくり返して来た。各新聞ではゴシップとして毎日色々なこと

を書くので『天の岩戸』を見に来る入場者で展覧会にはぎわった。

その翌年、神戸県庁の東にある工業試験場の階上を借りて圓鳥会展を開催したことがあった。後にNHKの放送部長になられた奥屋熊郎が板宿に住んで神戸に来る芸能人、音楽会、演劇などを世話しておられる頃で、圓鳥会展も全て奥屋熊郎のお世話になった。

東京からは野口弥太郎、林武、鈴木亜夫と私の四人が来た。展覧会が済み、売上手数料を集めた百円をもって京都の宮川町から芸者に出ている私の姪の芸者屋へ行こうと私達四人と神戸又新日報の若い坪井甚喜記者を入れて京阪電車に乗った。

京都は一日と十五日以外は芸者の花代が大阪より四割も安くなるし、伊藤の姪だったら花代に足が出てもなんとかなるだろうというので、宮川町の夕暮れどき、うた女をよんで百円を渡した。……

男は気をつかわんもんどす。おうた姉ちゃんにもたれかかってまかしときなはれ……ということになって、えらいさわぎになった。途中、ベレンベレンに酔った妓がやって来て、微に入り細にわたって、四十八手を講義し始めた。その一手に「けんけん猿の板けずり」というのがあって、大工の名匠が情愛のこもった手で木の肌をたんねんになでつなめつしながら、心をこめてかななをかける……あのこつだという。解ったような解らんようなものであった。

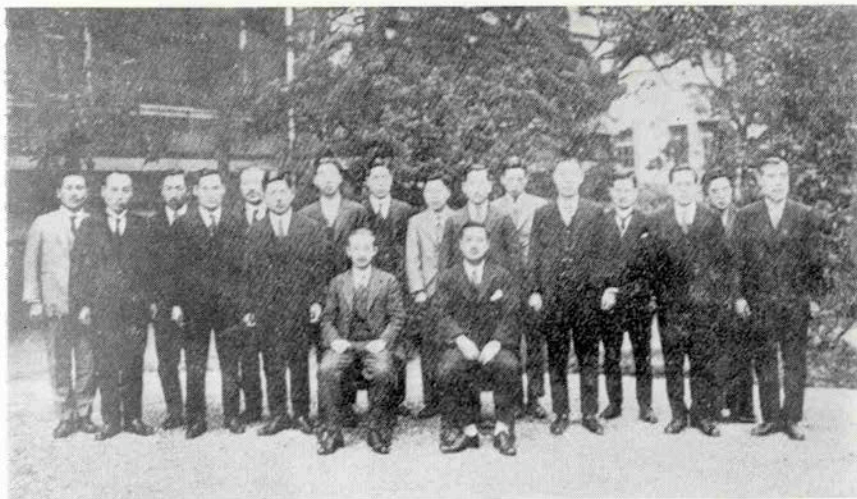
姪のうた女は、八十歳の今も祇園で常磐津文字已喜師匠として健在である。林武の生前に出版された画集にこの圓鳥会の記録が書かれているそうである。

□神戸商科大学と神戸 〈1〉

難産をきわめた誕生

高木 正雄

▽神戸商科大学学長▽



昭和4年3月、兵庫県庁内創立仮事務所前で。中央左が伊藤真雄初代校長。右が学務部長兼校長事務取扱川崎末五郎氏。

本学は去る昭和四年四月に兵庫県立神戸高等商業学校として開校されたので、昭和五十四年には創立満五十年を迎えることになる。したがって本学は今日までいわば激動の昭和史とともに歩んできたともいえよう。本学は、次のべるようにその誕生そのものになかなか骨が折れたのであって、まかり違えば流産の憂き目を見るところでさえあった。

そもそも本学設置の由来は、大正十二年官立神戸高等商業学校（現神戸大学・経済学部・経営学部・法学部の前身）が時勢の進運にともなって、商業大学への昇格が決定したことに胚胎する。というのは、この商業大学には、高等商業に相当する専門部を附属しないことになっていた。官立神戸高商の商大への昇格はまことに喜ぶべきことではあるが、これでは日本の玄関口である国際港都「神戸」を擁するわが兵庫県下に専門学校程度の商業教育機関を失うことになるので、何とかしてこの欠陥を補う必要があるという意見が各方面から起ってきた。すなわち、大正十三年末の県会には「商業専門学校存置に関する意見書」なるものが提出された。他方において、県立第一神戸商業学校（通称「県商」・現県立神戸商業高等学校の前身、近く創立一〇〇年を迎える名門校）の関係者特にその同窓会及び父兄会による熱心な同校の昇格運動が展開された。そこで大正十四年、県会市部会では昇格建議案を可決するに至ったのである。県当局でもこのような情勢をふまえて色々と研究を重ねたところ、

県下に専門学校程度の商業教育機関を持つことが必要であることは十分確認したものの、何分にも第一次世界戦争後の反動恐慌、関東大震災にもとづく震災恐慌、その上昭和二年の金融恐慌と財界は不況の上に不況が重なっており、その上この間政変が相次いで起こったためにその実現はなかなかはずかしくいいた。ところが昭和二年十二月、神戸商工会議所始め各方面からの熱烈な陳情が県当局にもたらされたため、これらの要望もだしがたく、時の県知事長延連と県参事会は県立商業昇格の具体案の審議を始めることにしたところ、まず何よりもその財源確保に難渋したばかりでなくその上昇格にまつわる手続上の困難にぶち当たった。そこで県当局としては新たに「高等商業学校」を創設し、県商はその姉妹校として同一地区内に移転併置することが好ましいという結論に達した。

ところで、母校の昇格運動を熱心に推進していた県商同窓会を中心とする人々も、最終目標は県下に専門学校程度の商業教育機関を設立することにあつたので、大乗的見地に立って譲歩されたばかりでなく、更に進んで物心両面にわたって積極的援助を惜しまれなかった。すなわち、県商昇格準備のため集めつづけた資金はすべて県立高商新設のために提供されたのみならず、その後も引きつづき創設準備に協力して寄附金募集運動を継続することまで申し出られたという、実にうるわしい美談を残されたのである。他方、新設高商と県商の誘致に非常な熱意をもっていた当時の明石郡垂水町（町長田口政五郎、現垂水区の中心部）よりは同町の篤志家の寄附になる山林三万坪（約十平方メートル）を学校敷地として整地の土無償で提供する旨の申し出があり、また宇治川電気鉄道株式会社（現山陽電鉄の前身）からの大口寄附を始め、川西・沢田・小曽根その他有志の人びとからの寄附申し出が相次いだ。そこで漸く県当局の意向も十分に固まり、そして「垂水町に県立の高等商業学校を設置して、県商も灘区原田の地（現在の海星女子学院のある

所）からここに移転する案」を昭和三年十二月末の県会に提出して、その議決を経た上急いで文部当局に所定の手続をとったのである。超えて昭和四年二月二日文部省令第十九号で「兵庫県立神戸高等商業学校設置」が認可され、同二月四日兵庫県告示第五八号で「本校を明石郡垂水町に設置し、昭和四年四月から開校しその修業年限は三ヶ年とする」ことが公示され、本学はここで漸く日の目を見るに至ったのである。このようにして本学は、幸に県下並びに神戸市における各種団体及び篤志家多数人士の協力、なかんずく県商の同窓会及び父兄会の理解ある且つ積極的な後援により、また県当局の英断をまっけてようやく生れ出たのであって決して楽々と誕生したものではない。いわば大変な難産だったのである。

時を移さず県では、本校仮事務所を三月末までは県学務部学務課内に置き、学則を公布し、生徒一五〇名を募集した。そして二月十五日川崎末五郎学務部長が校長事務取扱を命じられ、三月半ばに第一回入学試験を行い志願者五一六名の中から一六四名に入学を許可した。

四月二十二日開校式を兼ねて第一回入学式が県立第一商業学校講堂で挙行され同日付で川崎学務部長本校校長事務取扱を免ぜられ、代って大阪商科大学（同年旧大阪高商が旧神戸高商とともに昇格したもので、現大阪市立大学商学部・経済学部・法学部の前身）教授であった伊藤真雄が校長事務取扱となつて、ここに専任校長を迎えやつと軌道に乗り出したのである。しかし仮校舎は県商の六室を借用し、運動場は県商と共用するという不便をしのび、教員は専任講師以上十二名、その他十一名の少人数で以って四月二十三日から授業が始められた。こうして雄々しく新しい第一歩が踏み出されたのである。



高木 正雄

明治四十四年、明石市生まれ。県立神戸高商を経て、昭和十一年東京商科大学を卒業。昭和十七年、母校の教授となり現在に至る。その間、附属図書館長、学生部長、附置経済研究所長を勤め四十八年二月より同大学学長。専攻は経済学史。

□ある集いその足あと

火と下駄会

一と桁会

三浦 保

〈神戸新聞コミュニティ情報センター
事務局長〉

この会は「昭和元年から同九年までに出生せる成人男女で構成され、婦人会員に限り昭和拾年（漢字で書くとヒトケタではないかという強力な意見によって）をも認め、名簿上婦人会員はすべて拾年



建設的な意見が飛び交ってます（セントジョージにて）

生れとする」という神戸在住の紳士淑女の集まりである。

しかし、けっして世にいうヒトケタ族の集まりではない。あくまで「火と下駄の会」なのである。

つまり、つぎの趣意書にスナナリと賛同、おもしろいやナイカと集まって来た中年オツチヨコチヨイ族といえよう。

一、此の会に集まる者は、火の様な若い情熱を持ち、しかも雪の露路裏で下駄の二の字の跡を楽しめる人。

一、此の会に集まる者は、B29が空を焦がした劫火からゲートルに下駄履きで逃げた事を知る人。

一、此の会に集まる者は、ほとんど焼の芋の味と、チャリチャリというこぼりの音、校長先生の御名御璽、これが正月だという人。

一、此の会に集まるものは、紅葉を焼いた酒の味、素足に利久を突っかけた洗い髪の女の良さを感じられる人。

一、此の会に集まる者は、銅壺に徳利をどぼんと落す音や真白の五つこはぜで柵の通った下駄をキュツと鳴らす味を忘れない人——たちなのである。

しかも例会ごとに、そのシーズンに応じて四大節（四方拝り一月一日、紀元節、天長節、明治節）の歌を憶面もなく唄い、教育勅語を大声をあげて唱和するという下

アツカマシイ根性も持ち合わせていなければならない。

深夜に至るまで痛飲すべしという会則もあり、メンバーは男女にかかわらず酒好き、ビールを飲む人がほとんどなく、ウイスキーのビンがコロコロ空いてゆくから恐ろしい。いいかえれば酒を飲む以外に楽しみを知らないかわいそうな世代なのかもしれない。

この会ほど見事に「無目的」の集いはないだろう。例会のテーマもなければゲスト講師もない。それでも毎例会の出席率は平均70%。まさに「あの人たちには会えるから集まる」という人間中心の集団である。例会だけではない。二次会、三次会とその日話題の合った顔ぶれが飲みつづけたリ、ゴルフ好き同士グリーンに出たり、海へ釣りにゆく組もある。これがまた特定のきまつた小グループでなく、顔ぶれがクルクル変わるのも面白い。いってみれば中年男女の井戸端会議に徹している。

神戸を考えると、ヒトケタ族の役割は——などとむづかしい事をだれかが言い出すと「そんなこともうええやないか」とチャチャが入る。こうして無目的の集団が一年以上高出席率を保持してつづいているのはなぜだろうか。このあたりにヒトケタ中年のヒミツがあるのだろう。

こうべに神戸らしい店を…

KOBE
NIKKEN



店舗装備のプロフェッショナル (株) 神戸日建

本 社 神戸市葺合区御幸通3丁目2-20
〒 651 ☎ (078) 251-3525 (代)
東 京 東京都中央区日本橋3丁目2-17
営業所 ☎ (03) 278-1369番



「みもぎ」(生田区中山手通1丁目76)

□インタビュー□ 淡谷のり子

歌を愛してるんですね



★おしゃれて楽しいですね

淡谷 今の神戸はダメですね。

——あらあら、のっけからそんな話ですか。

淡谷 私、神戸がすごく好きだったんですよ。港町が好きなのね。昔の神戸って最高でしたね。トア・ロードの上にあったホテル、何ていったかしら……。

——トア・ホテルですね。

淡谷 そうそう。トア・ホテルね。朝早くにそこからトア・ロードを下りて行くのがとても良かった。この頃は昔の面影がないですね。ほかにも忘れられないのが神戸にはいっぱい。神戸に来れば必ず買う物、というのがあったんですよ。化粧品なんです。トア・ロードのアメリカン

カンファーマシーへ行って買ってたんです。それからエバンタイにもよく行ってました。私、昔から舶来品ばかりなの。

——日本の物は合わないのかしら。

淡谷 私の父は青森の呉服屋の旦那なのに、何故か舶来品が好きでね、その影響かしら。和製の最高のものはやはりいいですよっていわれるけれど、それでもダメなのね、私。色が気に入らないの。だからどんな小さなものでも舶来品。

——今の時代になってやっと先生の化粧法みたいなことの波長が合ってきたみたいですね。周波数が。(笑)

淡谷 そうなんです。最初は気違い沙汰。(笑)

——何で覚えたのですか。

淡谷 それはね、私がコロンビアにおりました時にね、エールさんという宣伝部長が、研究しなさいって化粧品を一式揃えてくれたんです。そのなかにはまつげもあつたし、アイシャドウもあった。それで覚えたんです。

——いつ頃のことですか。

淡谷 二十三、四の頃。

——おしゃれなんですね。今いちばんの趣味は？

淡谷 そりゃあ、やっぱりおしゃれですね。ステージに出るのにきたくなりたくないでしょ。ステージに出てる間はやっぱりおしゃれに投資してないかね。今度のステージはどんなドレスを着ようかなって考えるの楽しいですもの。

★歌を愛してます

——来年はやっばり五〇周年記念リサイタルのようなものを開かれる予定ですか。

淡谷 やるのですね。まわりでヤイヤイいつてるみたいだから。私はもうなりゆきにまかせてるんです。でも今からどんなドレスを着ようかなって思ってるから、私もやる気なんですよ。(笑)

——ドレスが着たいから歌うのですか。(笑)

淡谷 歌うからドレスを着るのか？ ドレスが着たいから歌うのか？ たぶん着たいのですね。(笑)

——歌を歌ってきいて一番良かったなって思うのはどんなことですか。

淡谷 私ね、自分の歌ってあまり好きじゃないの。

——どうしてですか。



歌手人生50年。今も美わしの淡谷のり子さん<於北野クラブ>

淡谷 ヘタだもの。今日は良く歌えたって思う日ないんですもの。そういうものです。歌い手になれば、でも歌を愛してるんですね。死ぬまで愛していこうと思うんですね。だけど、ステージに出てすごい拍手をもらった時と、ステージがすんでホッとした時とは誰にもわからないですね。私たちの特権ですね。戦後、進駐軍の仕事に入ってたね、アーニー・パイルって劇場で時々私のショーがあったんです。そこでいつだったか「ダニーボーイ」を歌って七回もアンコールがあったんです。その時は歌い手になって良かったと思いましたね。だけどアーニー・パイルってのは外人専用でね、よくも私のヘタな英語でアンコールがあったものですよ。ヘタな英語がおもしろかったから何度もアンコールしたのかしら。(笑) でもその時思いましたね、クラシックを始めに勉強して良かったなって。

——歌を愛し、そして人間も愛し？

淡谷 人間も愛しましたけど、本当じゃなかったみたいです。私、私の場合は。私は自分を愛してるんじゃないですか。人を愛するなんて卒業しましたね。飽きっぽいからダメなんです。本当に惚れんたんじゃないんですよ。飽きることなんてないはずのものなのに、飽きちゃうんですからね。突如面倒になってしまっただけ。(笑) やっぱ歌なんです。

——歌の方へエネルギーがいつてしまったのですか。

淡谷 そうみたい。自分この人とは逢えないかもしれないって時でも仕事の方へいつてしまっただけ。

——自由な女なんです。

淡谷 自由なんです。自由だといひんです。結婚なんて、あんな貧乏くさいのじゃないですよ。(笑) 私、結婚も経験したけれど、自分で働いて稼いで自由に使ってるからそう思うのかしら、結婚って本当に嫌ですね。旦那からお金をもらってそれで暮してるなんて、耐えられないの、私は。(笑) 自分で働いて自分の思うように使って……だから早い話、男なんです。私。(笑)



但馬久美



遙くらら



玉梓真紀



鳳 蘭

ニューヨーク子の留学生、
ディナ・ウィルキンソンが
●花のタカラジェンヌ
「風と共に去りぬ」インタビュー

鳳 蘭
玉梓真紀

〈レッドバトラー〉

〈スカーレットII〉



ディナ・ウィルキンソンさん

“スターッテ、オオ
キクミエルノネッ。”

遙くらら
但馬久美

〈スカーレットI〉

〈アシュレー〉

みなさん、役づくりの上でどういうところに苦心してらっしゃいますか
鳳 クラークゲートルのレッドバトラーは意識してますが、それに似せようという気はないです。
スカーレットがどんなに我まま勝手を言っても厚い胸でニコニコと笑いながら受けとめる男といったレッドバトラーを演じたい。
遥 スカーレットっていうと気が強くて……となりますが、とても女らしく、チャームिंगで自分の心に素直な可愛い女性だと思うんです。そういうスカーレットが出れば……と思って毎日やってるんですけど。
玉梓 スカーレットって二つの面を持ってて心で思っていることを口に出さず取りつくろっているようなところが17才位の時の映画を見ても多いですね。裏面っていうか心で思っていることと口に出しちゃうことが違うのね。
玉梓さんは、影の役としてど

★今は喜んで髭をつけてます

●DINA・J・WILKINSON
(字井流金尊 出伊奈)
身長175cm、22才のニューヨーク子。今春、エル大学(コネチカット州)日本学科で日本経済と日本文化を専攻して卒業。住友の基金による旅費補助を受け、約2カ月半の日程で日本全国を漫遊中。宝塚歌劇団へは、月刊「神戸っ子」の特派記者としてハッスル。

ういうところに気を使っていらっ
しゃいますか

玉梓 ああ、最初影っていうの
を意識しすぎて……。人間って心
で思っ、口に出るでしょう。ス
カーレットの位置よりも出過ぎな
いで、いかにパツと心を先に表現
して、二人を一人に向けるかって
いうんで苦労しました。まだして
ますけど。

——鳳さんの髭については賛成の
声と反対の声があったようですね
鳳 自分でも最初のやだったんで
すけど、なんかみんなから似合う
って言われて(笑)今は喜んでつ
けてます。

——但馬さんはステージを拝見し
た時にダンスが大変お上手だと思
ったんですけど歌と踊りとお芝居
では何が一番好きですか

但馬 そうねー、もう好きなのは
ダンス。私はもうちっちゃい時か
らバレエをやってて、モダンに変
わって、なんせダンスをすること
が好きで宝塚に入ったから、もう
踊ることが何よりも好き。

——遙さんはテレビでもお見受け
してるんですけど、テレビと宝塚
のステージとどちらが魅力的です
か。

遥 うーん。全然違うもんだと思
うんですよ。私宝塚の舞台好きで
すし、舞台には舞台の良さがあり
ますから、でもテレビも違った意

味で好きです。これかもやっぱ
り舞台を中心にしていってもしテ
レビがあったら……と考えてま
すけど。

★スポットを浴びて最高の気分

——鳳さんは宝塚以外でやりたい
なと思ってることありますか。

鳳 宝塚以外で？男の人が入った
ミュージカルをやってみたい。も
ちろん女役で。(笑)

——どういう時にやっててよかつ
たと感じますか

但馬 そうね、あの二十六段の大
階段をスポットを浴びて降りてく
るあの気持ちと、それから何千人
の観客が拍手をもって迎えてくれ
る……そういう雰囲気というのは
舞台人でないと味わえないです
最高の気分ですね。それと役をよ
くやれてお客さんに感じさせた時
の喜びっていうのがやっぱりね。
鳳 舞台でお客様に拍手を受けた
ときというのは最高ですね。

——一カ月半も出づめの公演、健
康管理に気をつけて下さい。

全員 よく睡眠とって頑張ります

★インタビュを終えて
△宝塚歌劇団にて▽

ニューヨークで、サミーディビ
スジュニア、トムジョーンズな
どをインタビュした事がありま
すが、初めて日本の俳優をインタ
ビュしました。去年鳳蘭、但馬
久美、玉梓真紀の演じた「ペルバ

ら」を見ました。その上ほとんど
毎日昼食を食べながら遙くららの
主演した「加奈子」というテレビ
ドラマを見ましたから彼女の顔も
よく知っています。だから宝塚劇
場で主役の四人ともインタビュ
出来るようになって張り切って質
問を考え、舞台裏へ行きました。

みんな衣装を着たままでしたが
鳳蘭さんは髭をつけてませんでした
た。日本人の友達に手伝ってもら
いスター達と話しました。四人は
疲れも見せず機嫌よく質問に答
えてくれました。

俳優さんというものは舞台では
とても大きく見えますね。演技や
踊りが上手だと、よけいそう見え
るのでしょうか。けれど近くでみる
とごく普通の人です。髭をつけた
鳳蘭さんのレッドパトラは実
男らしくクラークゲブルに似て
いるけれど、舞台が終われば男装
をしていても鳳蘭さんの女らしさ
がすぐわかりました。

そして舞台で演じる役柄がその
ままその人の性質でもあることが
時々あります。例えば熱演した但
馬久美さんがすごく親切な人で、
舞台上に表わす熱心さも個性的な優
しさもインタビュで感じました
私の日本語は未熟ですが、ツレ
チャン、リンチャン、モック、ユ
ミチャンたちと会えたことは、と
ても楽しい体験でした。



□座談会／ファッション都市への提案

神戸に蓄積されている情報を 分析して再構成する工夫を

本誌は過去二十四回にわたってキャンペーン「ファッション都市神戸を考える」を展開してきました。

神戸市はまだファッション都市宣言はしておりませんが、ファッション都市づくりを標榜して以来、市民の間に意識的な変化が芽生え、色んな形で成果があらわになっていると思われまふ。

そこで、これまでの二十四回、百二十人に及ぶ各界の方々の意見を踏まえ、いわば総まとめの形で、これだけには必要だということを、産業界、行政、一般市民への注文という形でひとつ忌憚のないところをお話しいただきたいと思ひます。

★ ポートアイランド・六甲アイランドは神戸の切り札

C 一般市民のポートアイランドに対する認識という点ではどうですか。どれだけ目を向けていますかな。

B もっと具体的にPRをしないと市民の理解を深められないのですが、神戸としては他の都市を意識した場合、勝負するのはポートアイランドと六甲アイランド

をひっくりかえした海上都市しかないと思ひますね。神戸の切り札はこれしかないですよ。既成の市街地では制約があつて自由な絵が画けません。それが出来るのは海上都市しかないわけですね。逆にいうとそれに対して一般市民も産業界ももっと関心を持っていいわけだし、もっと関心を持たせるようにすべきでしょうね。

C その切り札を生かすには何が大事かということが問題ですが、そのへんどうですか。

A おっしゃる様にポートアイランドは現在から将来にかけての神戸の大きな切り札であることは事実ですね。港湾都市としての神戸の明治百年の蓄積を次の百年へ如何に総合的に展開して行くかというとき、ポートアイランド、六甲アイランド、それと西北神の開発が大きな要であることは事実ですね。ただ、問題は、確かに要なんだけれども、そういった要を今一足飛びに使い切ることが出来るのかという点必ずしもそうじゃない。可能性は確かに求めて行かないといけないけれど、今現に持っている実力、過去の蓄積を充実させて行くことをそれに

なげて展開して行くという二本の足のアプローチが非常に大事ですね。ややもすると可能性を追いすぎて、今、神戸の持っている質の方の充実ということがおそろかになっているために将来に質の充実がいまま風船玉のように膨らんでしまふことに下手をすればなるのじゃないかということが一番の問題ですね。

たとえば神戸の町の魅力ということになると、三宮、北野、元町、六甲といった町の魅力が非常に大事なわけ、その質を高めることが神戸にとって非常に重要なわけです。それをポートアイランドとか先端だけに目を向けて既成の町をおろそかにしてしまうとちよつと困る。B 町は性格が暖昧になったときに亡んで行くと思えますね。そういう意味で今のご指摘、いわゆる既成の市街地の性格が暖昧になって行くことは誠に危険だと思えますよ。神戸の町の性格は、よそ者といえますか、そういう人たちが入って来てつくり上げたものですから開放性が特色ですね。だから地場の産業にこだわること、じゃなく他からどんどん入って来ればいいのですが、何でもいいというわけではないと思います。選別が要ると思います。だから、もちろん旧市街地もその性格をハッキリさせて行かないといけないように海上都市の方も積極的に全国からいいものを引っ張って来たいわけ、やはり、一つの考え方をハッキリさせて、一つのフィルターを通して、神戸の町の個性、特質を生かすような方向で引っ張って来ることが絶対に大事だと思います。C 神戸の特徴を一言でいえば、センスを大事にする町ということだと思います。神戸の強味は市民性としてセンスを大切に感じますね。それを忘れてはいけません。ポートアイランドにはシンボルをつくらないといけないですね。永遠のシンボルを追い求める姿を市民に示さないと、おとしやるようなことは追求出来ないと思う。目先のことはつかりやっていますダメですよ。

A 何でもポートアイランドにつくるよりも既成市街地の質が高まるものなら既成市街地につくるべきだと思います。

ますね。ポートアイランドは将来のためににおいておかないといけない。暖昧にポートアイランドを使うことはやめて、おとしやったようにキチツとしたシンボルをつくり、本当にそこでなければいけないものをポートアイランドに配置するという。それとコンクリートの建物で雑然と建っているのじゃなくて、徹底的に木を植えて本当の意味のキャンパス・シティ、公園都市的な行き方を徹底して追求すべきだと思います。

B おとしやる通りで、やはり、町づくりには一番基礎になる理念、哲学が必要ですね。ところが、残念ながら現実の問題としてはその哲学よりも、投資の回収の採算性が優先してしまっている。今、一番最初のスタート・ラインに戻って議論することは結構なんです、現実としては間に合わない。だから、どこかで妥協しながら出来るだけ理想に近づけるしかないのじゃないですか。

A 確かにそうなんです、そこに活動力のあるものをつくって、その利用度によって利率が得られるようにしないといけないということです。

C だから、シンボルが要るわけですよ。シンボルは何も形でなくても考え方もいいわけで、シンボルを打ち出しておけば賛意が得られやすくみんながその気になると思います。

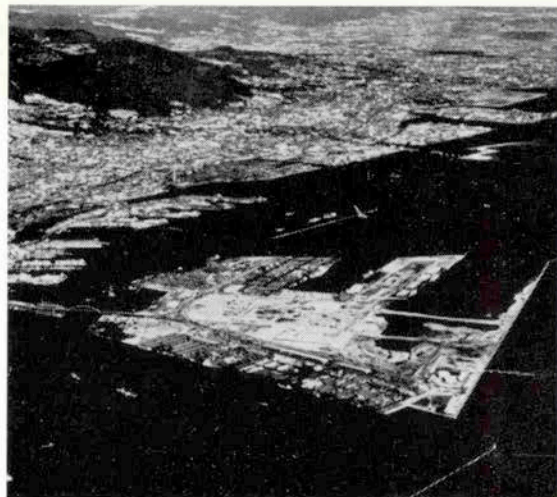
★ポートアイランドに神戸市の総合市庁舎をもっていく

B 一部には神戸がファッション都市宣言をしたと思っている方がおられるようですが、今の段階では、神戸がファッション都市志向で行くことに對して市民のコンセンサスは十分に得られてないと思いますよ。

A そう思います。

B ファッションに對してものすごく誤解がありますね。いわゆる流行というか、軽薄というか。だから、もっとファッションの本質を積極的にPRしていかないとダメですね。

C PRすること、これは行政もやらないといけないし



神戸の“切り札” ポートアイランド

産業界もやらないといけないし、市民自体もやらないといけないでしょうね。

B 行政が市民や民間にもっとPRしたらいいのじゃないかというのは確かにそうなんです、現実にはポートアイランドが出来つつあるのですから、学界であろうと産業界であろうと、色んな分野があれに対してもっと積極的に発言してもいいと思うんですよ。

A 提案すべきでしょうね。

C 市役所をポートアイランドへ持って行くべきですね。あそこへもって行ったら、身近かな問題として、みんながポートアイランドに関心を持つようになると思うのですがね。例えば10年計画で30階建ぐらいの規模の神戸のこれからの百年のシンボルとしての役所を考えると、本当にポートアイランドが生きてきますね。

B 少なくとも一番利にさといはずの神戸の経済界からポートアイランドに対して具体的な発言がないということとは理解に苦しみますね。その意味ではホテルを建てるということは評価していいと思いますよ。

★ 神戸の産業と生活と文化の頭脳をリンクさせる

C ここらでもう一度原点に帰って、神戸とはどういう町かということから将来を見て行きたいのですが。

B 最初に申し上げたように町の性格がボヤけたときに町は衰退すると思います。神戸の質をもう一度再認識してそれを強める方向は絶対に必要ですね。それは既成の市街地でやることでしようね。

A 既成の市街地でやることとポートアイランドでやること……。神戸は港湾都市で海と山があって、住むための条件が将来的にも展望があるという点では他に仲間ないと思います。大阪は住むための条件をつくるために並々ならぬ努力が要るわけですよ。京都はその条件は持っています、外から入って行けないし、また、外から入って京都をムチャクチャにしただめですね。京都は今がが一番いい。神戸こそ将来性を持っているわけです。都市はつくられるものだと思います。目標さえキッチリしておればみんなできくれる。神戸も自信を持つてつくるべきだと思いますね。

C 日本の都市に一番欠けているのは「共感の広場」、心をつなげる広場、ゆるやかな連帯をつくる広場とそれを統合、象徴する広場、シンボルですね。産業とか生活とか文化とかがつながるリングが出来てないのと違いますか。

A 神戸は今までの臨海工業は要らないけれど、六甲アイランドに産業を持って来ないといけないですね。それで西北神は中途半端な研究学園都市といわないで内陸工業の高い産業を持って来るべきですよ。いい職場を持つて来ないといけない。

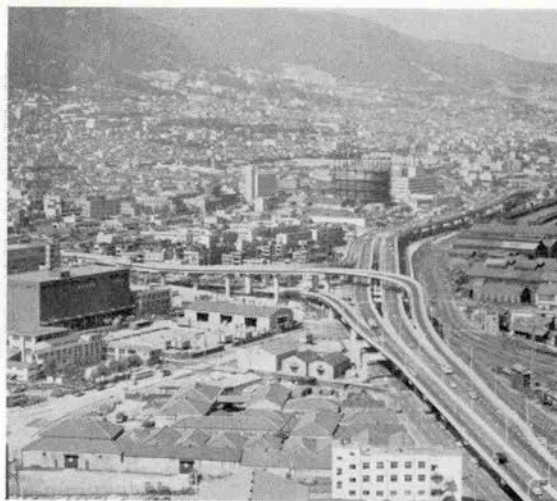
B もう一度神戸の産業構造を見直して行かないといけないですね。

A 神戸はどスモースに経済活動の出来る都市は他にないですね。住宅地の条件があり、港を含めて交通条件があり、こんなに条件のいいところは日本にないですよ。

B かつての神戸の基幹産業であった海運、鉄鋼、造船が今、不況に見舞われているのですが、それらの企業が持っているノウハウを新しくもう一度神戸向けに利用し直す方法はないのだろうか。頭からこれはダメだというのじゃなしにね……。

C 今までは人口の集積が都市であり、工業生産地だけが都市であったのですが、今や、情報生産地が都市でしょう。今のこの二次産業の情報のストック、これを生かすべきでしょうね。すごいノウハウがありますからね。

B その通りで、神戸のこれまでの基幹産業を一度分解して、そのノウハウを神戸向きに組み立てる作業が必要だということです。どなたかがいっておられたけれど、造船はすべて受注生産、オーダーメイドですね。このへんがたとえば自動車産業と全然違うところですね。下請けだってそういうところで育って来ているわけで、熟練度の高い技術があるはずですね。そういうものをファッションというか、生活関連産業に再生させる方法はないのだろうかと思えますね。



旧市街地と海上都市とをどうバランスさせるか

C オーダーメイドということが非常に大切なんですね
A 造船ほどの総合蓄積産業はないですからね。それと神戸に一番欠けているところは経済界もそうですがチームワークですね。知恵のチームワークがないですね。全部分断されていますからね。

C 産業と生活と文化がリングになっていませんからね
A 産業のノウハウを含めて、神戸で出来ることは何なのかをもっと真剣に議論しないといけないですね。

たとえば西神の工場団地に三菱、川崎を持って行くことは意味がないですね。交通不便で、生活不便な工場団地をつくっても仕方がないわけです。また、神戸外大は女子大化してあれは税金の無駄使いだという話があるのですが、せっかくの外大をどうやって生かすかという議論が必要ですね。極端に言えば、教養部、国際関係、国際経済などの系コースをつくって、それなりの陣容を整え、本当に市民の大学にすべきですね。

C 大学は都市の下真中に持つて来るべきですね。

A 極端に言えばポートアイランドでもいいですよ。神戸市立国際大学というように中味を考えることが大事ですよ。総合大学にする必要はないけれど、色んな意味から国際関係を学ぶ大学にしたいですね。たとえば、客員教授という制度をつくって、陳舜臣さんになって貰う。

B そうですね。神戸にある頭脳を大切にすべきですね。

A 人間を生かさないといけないですよ。

B 今のシステムは人間をつぶしていますからね。
A 東京大学の造船学科の一、二番は神戸の三菱造船へ来たといえますからね。神戸に日本のエリートが来るのはあそこだけだという。だから、すごい人材があるわけです。しかし、そういう人材が神戸の町とつながっていない。神戸製鋼もそうです。

★ 神戸のオリジナリティでいかに勝負するか

B 都市を支えるのは産業ですから神戸でも産業は大事ですが、神戸の地理的な条件その他を色々考えたら、やはり中小企業を大事にしないといけないですね。もう一つは、みなさんが知識集約型産業ということをおっしゃるのですが、それはそれでいいのですが、高度な労働集約型産業も神戸を舞台に考え直さないといいなと思いますね。

A おっしゃる通りですね。職人産業は現にやっているわけですね。洋菓子産業は日本で最高ですね。

神戸における職人文化をどうするかということはものすごく大事ですね。フアッションというとき片一方に必ず職人文化をやらなといけないですね。ギルドですね。もう一度神戸でギルド・ソシアリズムをどうやってつくって行くかが大事だと思いますよ。

B それと倉敷のアイビー・スクエア。あの精神というか、考え方は参考になるのじゃないですか。

A あれについては色んな考え方がありますが、長い長い時間がかかっているんですね。

B 倉敷には大原美術館などがありますが、アイビー・スクエアによって潤っていますね。来る層も若くなつて来て、町全体が活気を持っていますね。

C アイビー・スクエアでみられるような若者の文化がグンと出て来ないとダメですね。音楽や絵画という文化でゆるやかに都市を結び合わせる、共感という心を一つにする。そうしないと都市は発展しないし、活力が出て来ないですよ。

B 北野の異人館を利用した美術館も考えられますね。そういうものの集積が神戸らしさをつくって行くわけでしょう。小磯良平、小松益喜……色んな方がおられますからね。そういう肌理の細かいサービスをあげないと、せっかく神戸へ来ても失望して帰るだけです。一番困るのはよそからお客さんが来て神戸を案内してくれといわれるときですね。神戸らしさを見せようと思ったらハタと困る。

B 理屈っぽくいえば、ベーシックなところで、今の大学の問題とか、町づくりの哲学の問題とか、産業構造とか色々あるのだけれど、結果的にはもう少し神戸らしさを上手に演出して、うまくつながないといけないということですね。そのためには、たとえば、小磯美術館も結構だし、神戸洋画館もいい。内容にはこと欠かないですよ。

A それと、神戸土木館もつくりたいですね。土木の設計図を日本のコレクターから全部集める。埋立て地の図面とかいっぱいあるわけですよ。居留地もあるし。それは原口記念館でもいいと思うんですよ。絶対にやるべきだと思う。

C 産業考古学をやらなければいけないですね。

B そういうことをひくくするめて神戸らしい観光産業を見直さないといいですね。

A それも今までの観光ではなくて倉敷のように神戸ならどういうオリジナリティで勝負できるかということですね。たとえば、聚楽館でも松竹座でもいいけれど、淀川長治さんに名誉会長になって貰って、土曜日の夜だけでいいから往年の名画祭をやって欲しいですね。新開地復興には一番ですよ。月に一回は淀長さんが話をしに来る。

B 松竹座を借りて新開地文化センターにしたいですね。
C それと世代間において生活意識が変わって来たということが大切ですね。これを産業も行政も市民も認識して対応していかないと困りますね。

B それは感じますが、妙に先取りしない方がいいと思っています。

C その意識の変化がどんどん神戸的なものへ向かっていくということです。だからこそ、市民も行政もみんな頑張らないといけないということですね。

A そうですね。

B 具体的に動くときだということですよ。

——どうもありがとうございました。

ウシオ工業㈱

取締役社長 牛尾 吉朗
神戸市葺合区浜辺通5丁目2の1
神戸商工貿易センタービル18F
TEL (078) 251-1651 (代)

田崎真珠㈱

取締役社長 田崎 俊作
神戸市葺合区旗塚通6の3の10
TEL (078) 231-3321

オールスタイル㈱

取締役社長 川上 勉
神戸市生田区伊藤町121
TEL (078) 321-2111

㈱ワールド

会長 木口 衛
神戸市葺合区八幡通3丁目1の12
TEL (078) 251-5311

カネボウベルエイシー㈱

取締役社長 福岡 必三
神戸市生田区三宮町1丁目43番地
TEL (078) 392-2101

㈱ベニヤ

取締役社長 松谷 富士男
神戸市生田区三宮町1丁目54
TEL (078) 332-3155

モロゾフ㈱

取締役社長 葛野 友太郎
神戸市東灘区御影本町6丁目11番9号
TEL (078) 851-1594

入船㈱

取締役社長 小泉 進吉
神戸市灘区新在家北町1丁目1-19
(阪神電鉄新在家南) プリコビル3F
TEL (078) 851-3191

神戸地下街㈱

さんちかタウン・サンこうべ
神戸市生田区三宮町1丁目1
交通センタービル8F
TEL (078) 391-4024 (代)



キャンペーン「ファッション都市神戸を考える」の
企画は以上9社の提供によるものです。



暑中お見舞い申し上げます

一九七七年
盛夏

乾汽船株式会社

取締役社長 乾 豊彦

神戸市生田区海岸通八番
電話(〇七八)三三一—三三六六代

株式会社 神戸製鋼所

取締役社長 杉澤 英男

神戸市暮合区脇浜町一—三一八
電話(〇七八)二五一—一五五一

株式会社 ダイエー

取締役社長 中内 功

吹田市豊津町九一
電話(〇六)三八〇—四一四六

石野証券株式会社

取締役社長 石野 成明

神戸市生田区栄町通一丁目八—二
電話(〇七八)三九一—〇〇〇—代

日本香料薬品株式会社

取締役社長 小野 一夫

神戸市葺合区脇浜町三丁目三—二
電話(〇七八)二二一—一九七五代

関西貿易株式会社

取締役社長 竹田 剛男

神戸市兵庫区出在家町二—六—一九
電話(〇七八)六七—一六〇二—代

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作

神戸市葺合区旗塚通六丁目三—一〇
電話(〇七八)二三一—三三二一

三輪運輸工業株式会社

取締役社長 三輪 吉郎

神戸市葺合区脇浜町二丁目一—一
電話(〇七八)二五一—五〇〇—代

兵庫信用金庫

理事長 園田 正和

本店・姫路市北条口一〇八番地
電話(〇七九二)八二—一一五五
神戸本部・神戸市長田区大橋町四
電話(〇七八)六四—一五一五

島文工業株式会社

取締役社長 島田 文六

神戸市灘区岩屋中町四丁目二—七
電話(〇七八)八七一—五一八一

株式会社 ミキモト

代表取締役 本間 利章

神戸市生田区三宮町一—五—二
さん プラザ 七階
電話(〇七八)三三二—三七一五

神戸地下街株式会社

さん ち か タ ウ ン
サ ン こ う べ

神戸市生田区三宮町一丁目一
電話(〇七八)三九一—四〇二四代



暑中お見舞い申し上げます

一九七七年
盛夏

角南商事株式会社

取締役社長 角南 猛夫

神戸市葺合区小野柄通七丁目一番

(三宮ビル8F)

電話(〇七八)二五一五五一一

株式会社 大丸神戸店

取締役 長 北尾 信一

神戸市生田区明石町四〇

電話(〇七八)三三一八二二四

甲南漬本舗

高嶋酒類食品株式会社

取締役社長 高嶋 平介

神戸市東灘区御影塚町三丁目九一六
電話(〇七八)八四一〇五五一代

麒麟麦酒(株)神戸支店

支店長 長山 和夫

神戸市葺合区御幸通四丁目一一
電話(〇七八)二五一八一一一代

岡添真珠株式会社

栄光宝飾株式会社

代表取締役 岡添 貞撫

神戸市生田区山本通二丁目一番地
電話(〇七八)二四二二四二四代

代表取締役
會長 山本 勝

株式会社山勝真珠

早駒運輸株式会社

取締役社長 渡辺 正二

神戸市生田区波止場町中突堤中央ビル
電話(〇七八)三二一〇一五一代

ニューブーンフレッシュユドレッティング
(株)N・Bフーズ

代表取締役 保田 信之

神戸市東灘区魚崎西町四一一二二
電話(〇七八)八五一四九五五代

今津建設株式会社

代表取締役
社長 今津 成生

神戸市兵庫区吉田町二丁目二六四
電話(〇七八)六七一一三六三二代

BIG(英国保険団)エージェント

神戸損害保険事務所

代表取締役 大原 孝夫

神戸市垂水区西脇一丁目三一三
電話(〇七八)七八三一五六〇一

不妊・避妊クリニック

ワシオ産婦人科診療室

室長 鷺尾 隆

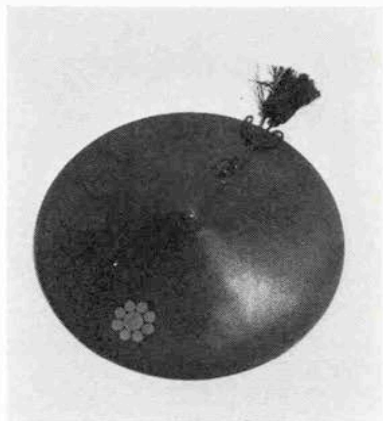
神戸市生田区元町通二丁目二〇一七
(石原ビル)
電話(〇七八)三九一一五九一九

佐本小児歯科

院長 佐本 進

神戸市生田区加納町五丁目三九
住友銀行三宮ビル六階
電話(〇七八)三三一六三〇二一三

刀剣 古美術



陣笠 (九曜定紋入) 12万円

鑑定 買入 刀剣 研磨 その他工作
一ヵ月仕上 是非ご用命下さい。
お支払いに便利なローンをご利用下さい

刀 剣 元町美術
古美術

神戸市生田区元町通6丁目25番地

TEL 078-351-0081

ビロードの味
アイスクリーム



ビロードの味で楽しめる
フランス風伝統のアイスクリーム。

(125ml入 ¥200 ・ 480ml入 ¥600)
(960ml入 ¥1,200・アイスコーン ¥150)

創業80周年

80



神戸月堂

本社/神戸元町3丁目 ☎ (078) 391-2412